

## 個人投資家が行動経済学から学べること

内藤 忍

(株)マネックス・ユニバーシティー)

マネー誌をはじめとする個人投資家を対象とした調査からわかることは、個人投資家の投資行動は、感情のバイアスによってマイナスの影響を受けているという事実である。個人投資家の感情バイアスによる失敗例には一定の傾向がある。また、個人投資家は投資の手法によっていくつかのグループに分けられ、グループ毎の投資傾向の違いが投資成果の差につながっている可能性もある。個人投資家の投資行動とその失敗例を分析することにより、行動経済学的視点から投資のリターンを改善するための具体的な処方箋を考えることができる。

当セッションは、理論的研究に対する個人投資家とのディスカッションも踏まえ、現実的で具体的な改善策を提案できるようにするのが目標となる。当学会会員に限らず、個人投資家の積極的な参加を歓迎し、議論を具体的に深めていきたい。